

2024

さぬきの

安全



香川県警察



香川県警察本部長  
岡本 慎一郎

県民の皆様には、平素から警察諸活動に対し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年の県下の治安情勢は、刑法犯認知件数が、2年連続の増加となり、特殊詐欺や住宅対象の侵入盗など、県民に身近な犯罪が大幅に増加したほか、ストーカー事案、DV事案、児童虐待等のこども・女性を狙った事案も後を絶たない状況にあります。

また、交通死亡事故死者数については、統計資料が残る昭和23年以降2番目に少ない33人となり、3年連続で30人台にとどまるなど、一定の成果が現れる結果となりました。しかしながら、人口10万人当たりでは、全国ワースト5位と依然として厳しい状況となりました。

加えて、科学技術の発展により社会が変容していくなか、サイバー空間における脅威は極めて深刻な情勢が続いているほか、南海トラフ地震発生の懸念など、県内の社会情勢、治安情勢は刻々と変化しているところです。

このような複雑化する治安情勢に、迅速的確に対処するため本年の運営指針を「県民の期待と信頼に応える力強い警察」と定め、社会の変化を的確に捉え県民の安全を守るために、全職員が一丸となって取り組んで参ります。

この広報誌が警察活動に対する県民の皆様のご理解を深めていただく一助となりますとともに、今後の活動に対してなお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

広報誌「さめきの安全」は、平成3年から県警察において毎年発行している広報誌で、県警察の活動状況や各種施策を写真やグラフを用いて、コンパクトにまとめた警察広報資料です。

# 「さめきの安全2024」 contents

## 香川県警察のしくみ 3

- 1 香川県警察の組織
- 2 香川県公安委員会

## 香川県の治安情勢に関する指数の数値 4

## 活動写真 5

## 警察署の活動 7

### 令和5年の警察活動

#### 交通死亡事故の抑止 13

- 1 令和5年中の交通事故発生状況等
- 2 道路交通秩序の維持
- 3 交通安全思想の普及促進
- 4 安全運転の確保
- 5 交通事故の起きにくい道路交通環境の整備

#### 人身の安全を確保するための対策の徹底 17

- 1 令和5年中の人身安全関連事案の認知・検挙状況
- 2 人身安全関連事案対策の推進

#### 犯罪防止に向けた取組の推進 18

- 1 令和5年中の刑法犯認知・検挙状況
- 2 こども・女性・高齢者を守る取組
- 3 制服警察官による地域の実態に即した街頭活動等の強化
- 4 少年の非行防止及び保護育成総合対策の推進
- 5 良好な生活環境を守るための諸対策の推進

#### 重要犯罪等の徹底検挙 21

- 1 重要犯罪、重要窃盗犯の徹底検挙
- 2 科学捜査力の強化
- 3 構造的な不正事案への対策

#### 暴力団等組織犯罪対策の推進強化 23

- 1 総合的な組織犯罪対策の推進
- 2 特殊詐欺撲滅に向けた取締りの強化

#### テロ等の未然防止の徹底と災害等緊急事態への対処力の強化 25

- 1 テロの脅威等への対処
- 2 大規模災害への対処力の強化

#### サイバー空間の脅威への的確な対処 27

- 1 サイバー事案への対策
- 2 人材育成の推進
- 3 官民連携の推進

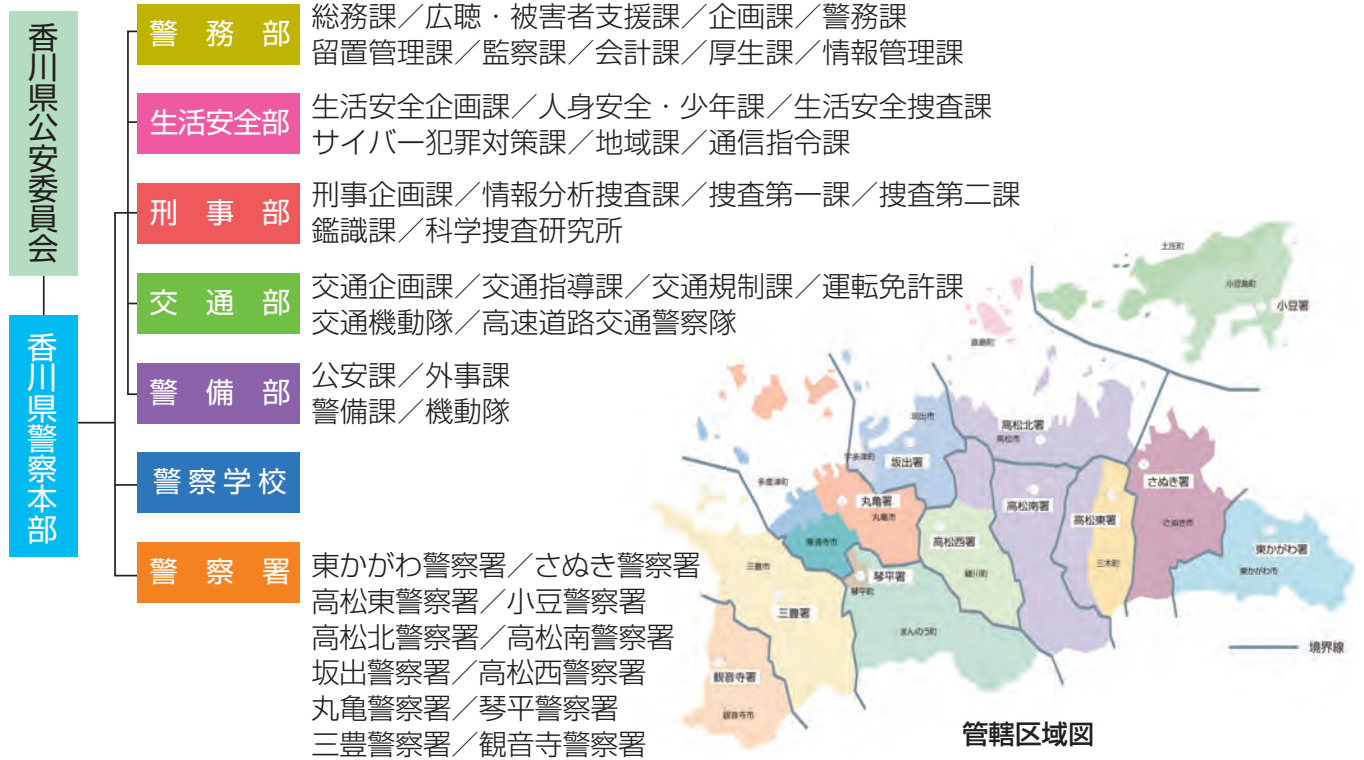
#### 警察活動を支える基盤整備の強化と柔軟な組織運営の推進 29

- 1 県民の視点に立った警察活動の推進
- 2 第一線における職務執行を支える取組の推進
- 3 警察運営の合理化・効率化の推進  
警察学校における採用時教育

# 1 香川県警察の組織

香川県警察には、警察本部や警察学校等のほか、12の警察署が置かれています。

## 香川県警察組織図



# 2 香川県公安委員会

### ◇ 公安委員会制度

警察は、強い執行力を有しており、独善的な運営がなされたり、政治的に利用されることがあってはなりません。公安委員会制度は、国民の良識を代表する者が警察の管理を行うことで、警察の民主的運営と政治的中立性を確保することを目的として設けられた制度で、警察法に定められています。

### ◇ 組織

香川県公安委員会は、香川県知事が香川県議会の同意を得て任命した3人の委員で構成されています。委員の身分は、「特別職に属する非常勤の地方公務員」です。任期は3年で、2回に限り、再任が認められています。

### ◇ 警察法に基づく権限

- 法令又は条例の委任に基づく香川県公安委員会規則の制定
- 香川県警察の事務又は香川県警察職員の非違に関する監察の指示
- 香川県公安委員会に対する苦情申出の受理 等

### ◇ 各種法令に基づく権限

- 道路交通法に基づく交通規制、運転免許とそれに対する取消処分
- 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律に基づく指定暴力団の指定、暴力的要求行為等に対する措置命令
- 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に基づく風俗営業の許可と取消処分 等

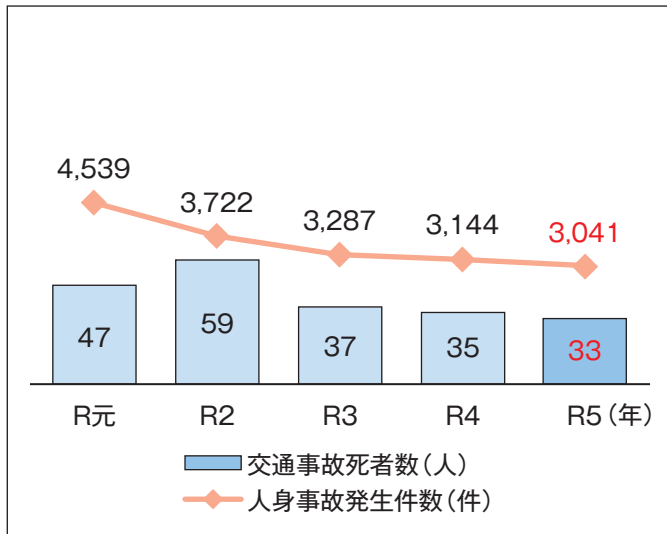
### ◇ 活動内容

香川県公安委員会は、原則として毎月3回の定例会議を開き、香川県警察から、警察運営の基本方針や各種施策のほか、日々発生する事件、事故及び災害の発生状況とこれらに対する警察の取組状況等について報告を受け、委員会としての意見を決定し、香川県警察の業務運営に反映させています。

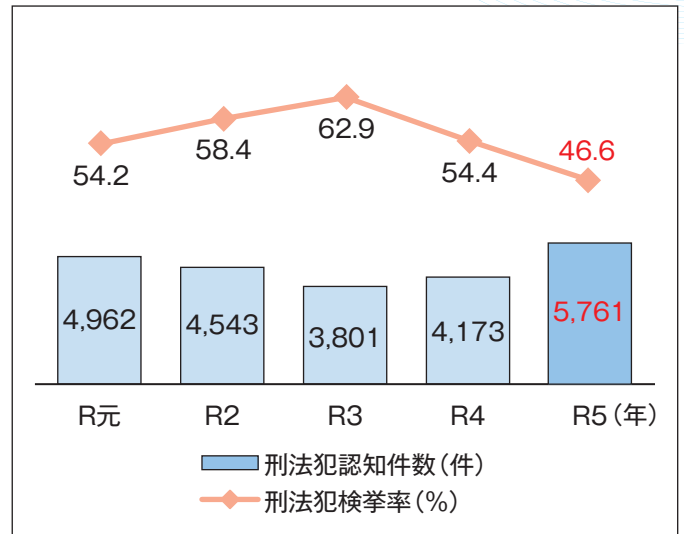
# 数字でみる香川県の治安情勢

## 香川県の治安情勢に関する指数の推移

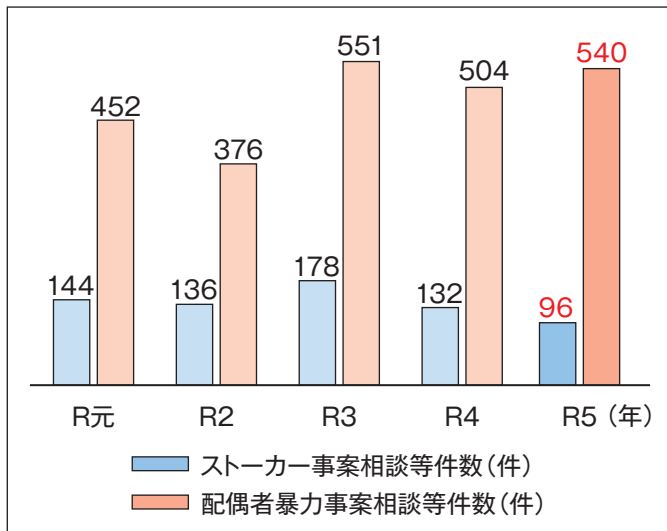
### ○交通事故死者数・人身事故発生件数



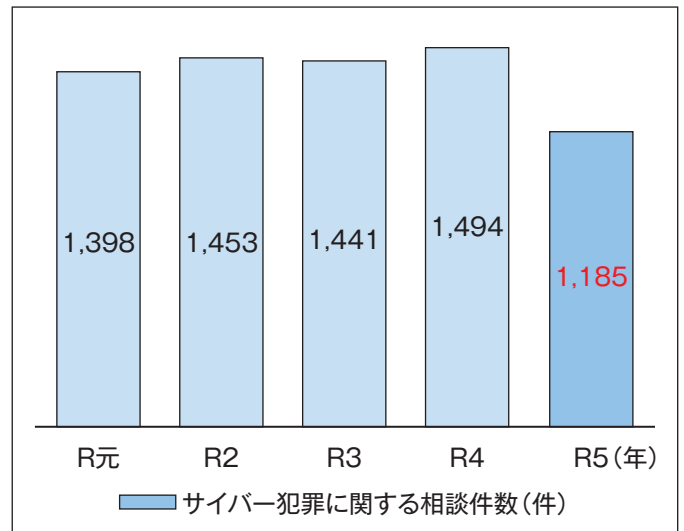
### ○刑法犯認知件数・刑法犯検挙率



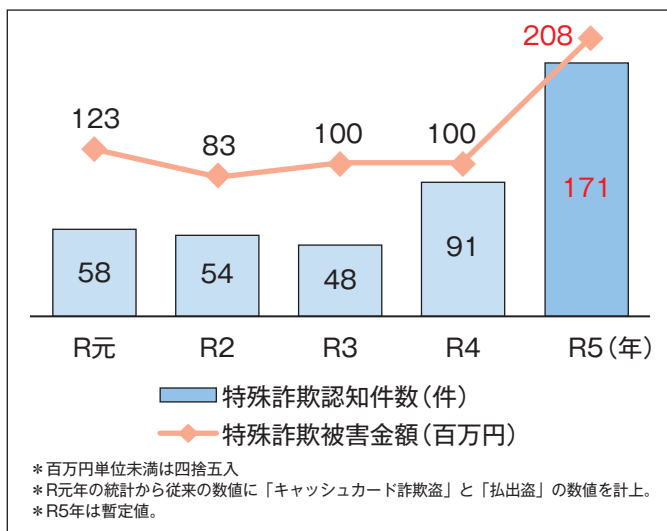
### ○ストーカー事案・配偶者暴力事案相談等件数



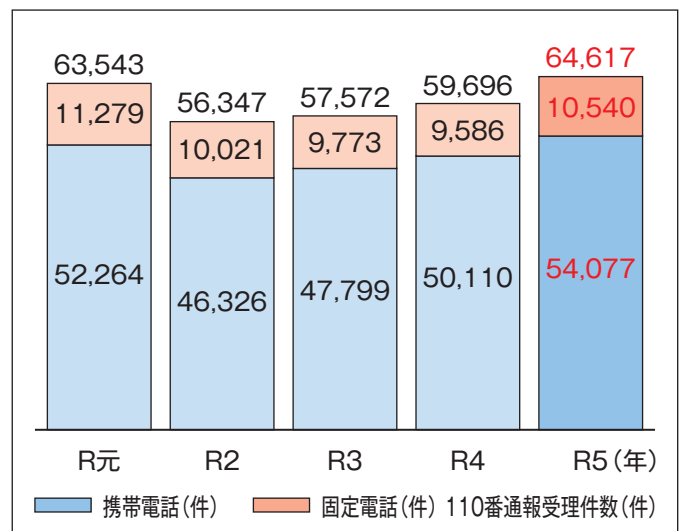
### ○サイバー犯罪に関する相談件数



### ○特殊詐欺認知件数・特殊詐欺被害金額



### ○110番通報受理件数





ここからはじまる



イチョウ パトロール



僕ら運命共同体



「G7香川・高松都市大臣会合」開催に向けた列車警乗訓練

警戒

我らの警戒に間隙なし



この町を守る



G7は俺が守る



瀬戸内海は今日も穏やかです



眼差し



駐在さん、いつもありがとう!



気をつけて、いってらっしゃい



海は広いな(危険も)大きいな

ふれあひ



てをあげて、おうたんほどうをわたりま〜す♪



市民と心をつなぐ『なんしよんな』



次はあなたの町に♪ 音の架け橋♪

音楽隊



ワクワクする楽しいステージをお届けします♪

# 警察署の活動

## 東かがわ警察署

### 前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 3月8日 飲食店経営名下の多額詐欺事件被疑者の検挙
- 6月15日 4年ぶり管内そろっての地域安全推進委員委嘱式の実施
- 9月26日 交通死亡事故「2年連続ゼロ」の達成
- 11月9日 未解決殺人事件広報・啓発キャンペーンの実施
- 11月15日、12月25日 深夜に中学校部室等へ侵入した被疑者2名の検挙



### 交通死亡事故「2年連続ゼロ」の達成

東かがわ署では、交通指導取締りをはじめとし、交通安全教育、関係機関団体等と連携した広報啓発活動を積極的に推進した結果、令和5年9月26日には交通死亡事故の発生がない期間が2年となりました。これは警察署別の統計が残る昭和29年以降最長となりました。



## さぬき警察署

### 前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 6月16日 高校生による「高齢者スマホ相談会」及び特殊詐欺被害防止講話の実施
- 8月20日 津田の松原海水浴場におけるライフセーバーと合同水難訓練の実施
- 9月4日 包丁を使用した傷害及び銃刀法違反事件の検挙
- 9月6日 CATVでの特殊詐欺・犯罪実行者募集情報(闇バイト)の広報啓発活動の実施
- 11月27日 交通死亡事故「2年連続ゼロ」の達成



### 津田の松原海水浴場におけるライフセーバーと合同水難訓練の実施

さぬき署では、津田の松原海水浴場において水難事故に的確に対処するため、若手警察官とライフセーバーが合同で水難救助訓練を行いました。訓練ではレスキューボートなどを用いた救助訓練のほか、救助者が溺者に掴みかかられた場合の措置要領の実演訓練などを行い練度を高めました。

また、同訓練に合わせて海水浴客に対して水難事故・盗難被害防止の注意喚起も行いました。





## 高松東警察署

### 前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 2月14日 著作権法違反等被疑者の検挙
- 7月17日 会社役員被害の殺人未遂事件の検挙
- 7月25日 高松東署ファミリーデーの開催
- 9月26日 高松東交通安全祈願祭の実施
- 10月28日 「三木まんて願。」祭の雑踏警備



### 会社役員被害の殺人未遂事件の検挙

7月14日、高松市小村町の路上において、徒歩で出勤中の被害者に背後から頸部をゴルフクラブで殴打し、胸部を果物ナイフで刺すなどしたとして、全治約3か月の傷害を負わせる殺人未遂事件が発生しました。所要の捜査から被疑者を割り出し同月17日被疑者を検挙しました。



## 小豆警察署

### 前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 1月12日 GoToトラベル事業を悪用した詐欺事件の検挙
- 1月26日 旅客船テロ対策合同訓練の実施
- 7月5日 小豆島交通死亡事故ゼロ1,000日達成キャンペーンの実施
- 10月23日 小豆島におけるオオトカゲの出没
- 11月28日 児童による安全安心オリーブしおりの作成・配布



### 小豆島交通死亡事故ゼロ1,000日達成キャンペーンの実施

7月5日、本格的な夏季観光シーズンの到来と小豆島での「交通死亡事故ゼロ」継続日数が1,000日を達成した機会を捉え、池田港において土庄町及び小豆島町と合同で街頭大キャンペーンを実施しました。地元プロバスケットチーム「小豆島STONES」の選手も参加し、日常の各ボランティア団体の活動や地域住民への感謝を伝えるとともに、死亡事故抑止の取組みを「細く長く」継続したいとの願いを込めて、小豆島の名産品である手延べ素麺を配布しました。



# 警察署の活動

## 高松北警察署

### 前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 6月25日 コンビニエンスストア被害の持凶器強盗事件の検挙
- 7月7~9日 G7香川・高松都市大臣会合に伴う大規模警備の実施
- 9月13日 琴平電気鉄道株式会社と合同による不審者訓練の実施
- 10月3日 反射材着用啓発オブジェお披露目式の開催
- 11月16日 香西交番開所式の開催



### 反射材着用啓発オブジェお披露目式の開催

香川県立高松工芸高校絵画部の協力を得て、生徒が亀をモチーフとした反射材啓発用オブジェを制作し管内の商業施設において、お披露目式を開催しました。そこでは、亀の甲羅模様を反射材でデザインし、歩行者には反射材の着用促進を、ドライバーには「慌てず、ゆっくり」の安全運転を、また、亀の甲羅をヘルメットの形にすることで、自転車用ヘルメットの着用も併せて呼びかけました。



## 高松南警察署

### 前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 5月19日 郵便局被害の持凶器強盗事件の検挙
- 6月23日 県下初「ゾーン30プラス」供用開始
- 8月30日 大麻営利目的栽培・所持・密売薬物犯罪収益剥奪事件の検挙
- 10月26日 協定に基づき民間宿泊業者等との災害訓練の実施
- 1月~12月 犯罪情勢に応じ挙署一体となった抑止活動の推進



### 県下初「ゾーン30プラス」供用開始

高松市太田小学校区(高松市伏石地区)において、県下初の「ゾーン30プラス」の整備が完了しました。整備完了に伴い交通安全意識の高揚と「ゾーン30プラス」の周知を目的に、6月23日、高松市立太田小学校において児童、保護者などに対する交通安全教室を実施しました。



## 坂出警察署

### 前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 1月17日 一日警察署長委嘱式及び防犯・交通安全啓発キャンペーンの実施
- 6月21日 乳児の粉ミルクに酢酸鉛を混入させた傷害事件の検挙
- 8月8日 「交通死亡事故抑止特別取締り」の出発式の実施
- 8月11日 さかいで大橋まつり(花火大会)における雑踏警備
- 10月17日 他機関合同の水際対策等キャンペーンの実施



### 一日警察署長委嘱式及び防犯・交通安全啓発キャンペーンの実施

1月17日、SKE48の高畑結希さんと谷真理佳さんを一日警察署長に委嘱しました。

SKE48は名古屋を拠点とする女性アイドルグループで、高畑さんが坂出市出身というご縁もあって委嘱をお願いすることになりました。委嘱後、防犯・交通安全活動の出発式に参加し、その後宇多津町にある四国水族館で、少年警察補導員や学生ボランティア、警察官などと一緒にキャンペーン活動を行いました。



## 高松西警察署

### 前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 1月26日 綾川町における剪定ばさみ使用殺人未遂事件の検挙
- 4月14日 綾川町のひだまり公園あやがわ(通称:ヤドン公園)開園警戒強化
- 5月19日 外国人経営者による非現住建造物等放火事件の検挙
- 8月19・20日 国分寺町まつり雑踏警備
- 9月26日 騎馬警察官による街頭立哨キャンペーンの実施



### 騎馬警察官による街頭立哨キャンペーンの実施

香川県立農業経営高等学校馬術部の協力により、秋の交通安全県民運動期間中における交通安全キャンペーンを実施しました。同校馬術部員に一日警察官を委嘱し、通行するドライバーに対して馬上からの街頭立哨を行いました。また、交通事故ゼロを願って梨(事故なし)を配布するとともに、交通法規の遵守を願い、同校家庭クラブ生徒作成のほうき型(交通法規)ストラップを配布しました。



# 警察署の活動

## 丸亀警察署

### 前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 4月1日 綾歌3駐在所を統廃合し「綾歌交番」を開所
- 5月4日 「丸亀お城まつり」雑踏警備
- 6月13日 二代目親和会幹部等による広域覚醒剤等密売事件の検挙
- 7月22日、8月5・26日 夏の管内三大花火大会雑踏警備
- 10月15日 秋の行楽時期における飲酒運転撲滅検問の実施



### 綾歌3駐在所を統廃合し「綾歌交番」を開所

4月1日から富熊・栗熊・岡田駐在所を統廃合し、栗熊駐在所のあった場所に新たに綾歌交番を開所しました。また、富熊・岡田駐在所については、警察官連絡所として警察官によるパトロール活動の際の立ち寄り箇所、住民の皆様と協同で行う各種安全活動の拠点等として活用しています。

これからも「安全・安心なまちづくり」を目指して、地域に根差した活動に取り組んでいきます。



## 琴平警察署

### 前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 5月14日 畜産会社に侵入し、金品を窃取しようとした犯人の検挙
- 8月19・20日 国営まんのう公園で開催された音楽フェスタの雑踏警備
- 10月10・11日 金刀比羅宮例大祭に伴う雑踏警備
- 10月13日 まんのう町産そばを配付した詐欺被害防止キャンペーンの実施
- 12月8日 航空隊ヘリコプターを活用した行方不明者の発見、保護



### 秋祭りに伴う雑踏警備

10月1日と2日に琴平町内の氏子祭り、10日と11日に金刀比羅宮例大祭、14日にまんのう町かりん祭り、16日には金刀比羅宮石段マラソンが開催され、それぞれ主催者側と連携して雑踏警備を行いました。

各祭礼とも、コロナ禍前の人出、賑わいを取り戻しているなかでも、雑踏による事故は発生しませんでした。



## 三豊警察署

### 前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 6月21日 高齢者対象の特殊詐欺(架空請求)被疑者の検挙
- 9月13日 航空法違反(ドローンの目視外飛行等)被疑者の検挙
- 10月10日 暴力団組員による覚醒剤取締法違反の検挙
- 11月13日 市の防災行政無線を利用した特殊詐欺防止等の注意喚起放送の開始
- 11月19日 うらしまマラソンにおける雑踏警備



### 手作りポスターで「目を引く」啓発活動

警察官が手作りで「反射材利用促進」を啓発するポスターを作成し、警察署前の通勤や通学に利用される歩道沿いに掲示しました。

若手警察官が県民向けに特殊詐欺防止や交通事故防止を啓発するために、「通行人の目を引く」イラストや材料を工夫した手作りポスターを続々と作成しています。より県民の目に届くよう、警察署だけではなく、身近な交番や駐在所にも掲示を広げています。



## 観音寺警察署

### 前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 6月24日 内濱霊神社例大祭参加
- 8月1日 県内初、性的姿態撮影等処罰法違反事件の検挙
- 9月25日 自転車利用時のヘルメット着用を啓発するポスターの作成
- 10月7・8、14・15日 4年ぶり完全開催「ちょうさ祭り」雑踏警備
- 11月25日 連続出店荒し犯人の検挙



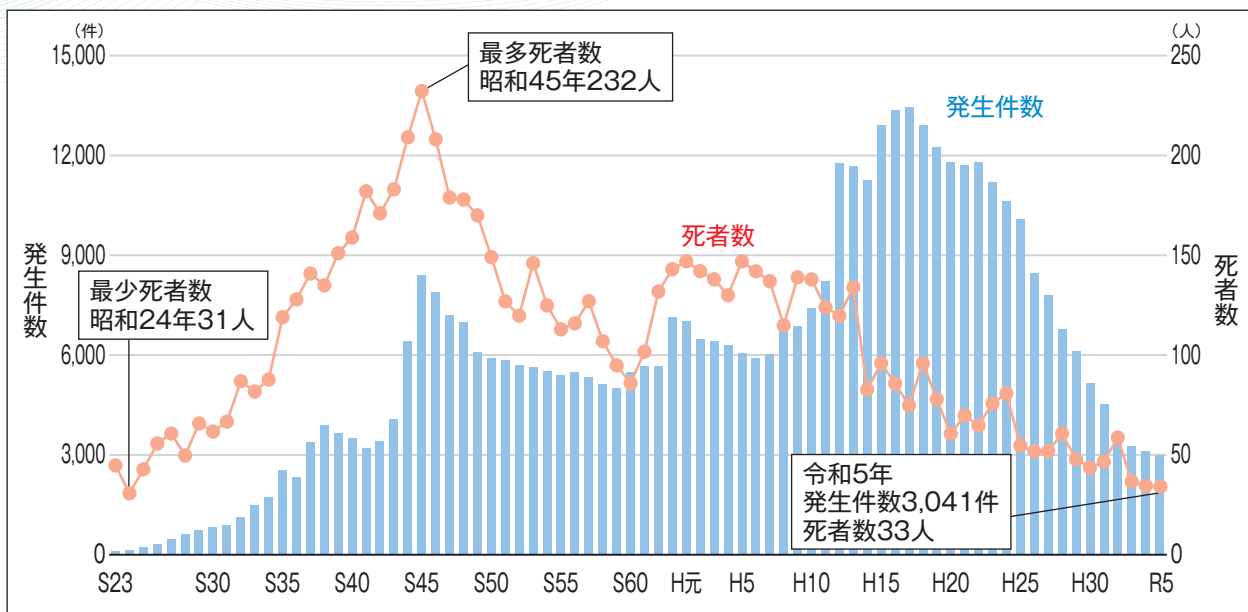
### 自転車利用時のヘルメット着用を啓発するポスターの作成

自転車利用時のヘルメット着用率を向上させるため、観音寺市内がアニメの舞台である「結城友奈は勇者である」(ポニーキャニオン)と香川県立観音寺総合高等学校の生徒がコラボして、自転車利用時のヘルメット着用を啓発するポスターを作成し、管内の高校生や関係団体と協力して自転車利用時にヘルメット着用の重要性を呼び掛けるキャンペーンを強力に推進しました。



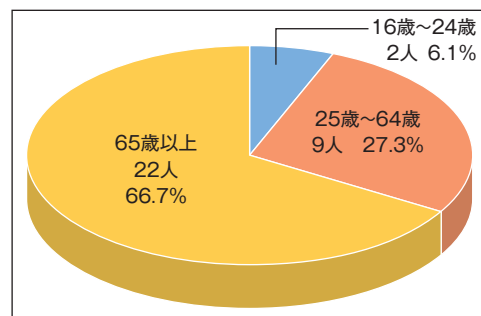
# 交通死亡事故の抑止

## 1 令和5年中の交通事故発生状況等



○ 令和5年中の県内の交通事故情勢は、人身事故の発生件数が3,041件（前年比103件（3.3%）減少）、死者数が33人（前年比2人（5.7%）減少）、負傷者数が3,712人（前年比18人（0.5%）減少）といずれも前年より減少し、死者数については、統計資料が残る昭和23年以降2番目に少ない人数で、3年連続30人台となりました。しかし、人口10万人当たりの死者数は3.53人で、全国ワースト5位と依然として厳しい状況が続いており、特に、死者数に占める高齢者の割合や歩行者の割合が高い状況で推移しています。

○ 県警察では、このような厳しい交通事故の発生状況を踏まえ、「地図情報システム」等を活用した緻密な交通事故分析の結果に基づき、交通事故抑止に資する交通指導取締りの強化、県民一人一人に届く交通安全教育の推進、関係機関・団体等と連携した安全で快適な交通環境の整備等、総合的な交通安全対策を推進しました。



年齢層別の交通事故死者数

## 2 道路交通秩序の維持

### (1) 効果的な交通指導取締りの強化

○ 交通事故分析の結果や地域住民の要望等を踏まえ、交通事故抑止に資する交通指導取締りを推進しました。

特に、重大交通事故に直結するおそれの高い飲酒運転、信号無視、指定場所一時不停止等の悪質・危険な違反の交通指導取締りを強化しました。



交通指導取締り

- 県下一円で、交通事故実態を踏まえた特別取締係「与一」による柔軟かつタイムリーな交通指導取締りを実施するとともに、取締り場所の確保が困難な通学路や生活道路等においては、可搬式速度違反自動取締装置を使用した速度違反取締りを実施することで、通行車両の速度抑制や歩行者等の保護に努めました。



可搬式速度違反自動取締装置による取締り

- 自転車指導啓発重点地区・路線を中心に、自転車利用者の信号無視、通行区分違反（右側通行、歩道通行等）、指定場所一時不停止等に対し、指導警告を行うとともに、悪質・危険な交通違反に対しては検挙措置を講じるなど、厳正に対処しました。



自転車指導啓発重点地区における取締り

- 重大交通事故に直結する危険性が極めて高い飲酒運転を撲滅するため、県警ホームページに開設した「飲酒運転根絶BOX」に寄せられる情報を基に、先制的な取締り等を実施し、検挙をはじめ諸対策に活用しました。

## (2) 悪質な交通事故事件等に係る適正かつ緻密な捜査の推進・強化

- 交通事故事件捜査では、カメラ画像や痕跡等の客観証拠の収集に努めるとともに、新たに導入した3Dレーザースキャナ図化システム等各種の機器を活用した科学的捜査を推進しました。

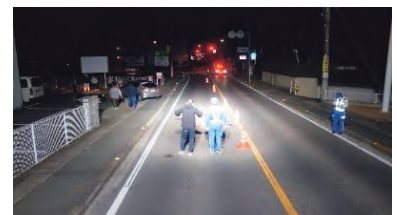


3Dレーザースキャナによる計測

- ひき逃げ事件や死亡事故等の現場においては、交通事故事件捜査統括官や交通事故鑑識官が指揮を行い、事故状況の解明や犯人の割り出し等の組織的かつ重点的な捜査を推進するとともに、交通事故被害者等に対しては、不安感を払拭するなど心情等に配慮した支援を行いました。



- 交通事故事件のうち飲酒運転、無免許運転等が疑われるものについては、一般の交通事故に適用される過失運転致死傷罪より罰則の重い危険運転致死傷罪等の立件を見据えた捜査を推進しました。また、暴走族や違法行為を敢行する旧車会員等の暴走志向者を根絶するため、あらゆる法令を適用した検挙や、関係機関と連携した不正改造車対策を実施し、車両を押収しました。また、危険性・迷惑性の高い共同危険行為や騒音関係違反の取締りを実施しました。



交通事故現場での活動

### 3 交通安全思想の普及促進

#### (1) 効果的な交通安全教育の推進

- 幼児や小学生に対しては、交通安全に関心を持ってもらうため、視聴覚教材等を活用した交通安全教室を開催したほか、中学生や高校生に対しては、自転車シミュレーターやスケアード・ストレイト方式を活用した参加・体験・実践型の自転車教室等の交通安全教育を推進しました。

※スケアード・ストレイト方式…スタントマンによる交通事故再現等により、恐怖を直視する体験型教育手法



スケアード・ストレイト方式による自転車教室

- 高齢者に対しては、各種会合にあわせた交通安全教室の開催や夜間における交通事故防止のための反射材用品の普及促進に努めたほか、「高齢者交通安全ガイド（警察官OB）」が世帯訪問を行い、個別にその対象に応じた交通安全指導を行うなど、きめ細やかな交通安全教育を推進しました。



世帯訪問活動

- 「交通安全教育推進隊」が各地で開催されるイベント等に参加し、交通安全教育車「まなぶちゃん」やシートベルト着用効果体験車等を活用した出前型、参加・体験実践型の交通安全教育を推進しました。

#### (2) 交通社会の一員としての自覚と責任を促す啓発活動の推進

- 年間を通じて、全ての自転車利用者に対する乗車用ヘルメット着用の努力義務化を盛り込んだ「自転車安全利用五則」を活用した自転車の安全利用に関する取組や、夕暮れ時から夜間における歩行者等の事故防止に効果が期待できる反射材用品等の視認効果、使用方法等について理解を深めるための取組を推進しました。

- 各季の交通安全運動期間を中心に関係機関・団体と連携した交通安全キャンペーンの実施や、SNSや動画共有サービス等を効果的に活用した広報・交通安全情報の発信を通じて、県民の交通安全意識の高揚を図りました。



SNSによる情報発信(大里菜桜氏)

### 4 安全運転の確保

#### (1) 関係機関・団体等と連携した高齢運転者対策の充実・強化

- 香川県医師会主催の研修会において、高齢運転者の特性及び医師が作成する一定の病気に係る診断書の役割等について講演し、医師会との連携強化と医師が高齢運転者の運転免許に関して助言できる環境の醸成に努めました。



認知症サポート医フォローアップ研修会



- 関係機関・団体が作成した高齢運転者に関するリーフレット等を運転免許センターに来庁した高齢者に配付し、広報啓発活動を推進しました。

## (2) 運転者教育の充実

令和4年5月に施行された改正道路交通法により、新たな高齢運転者対策として運転技能検査（75歳以上の高齢運転者が一定の違反を起こしていた場合、免許更新時に受検が義務付けられた検査）が導入されたこと等を踏まえ、県下の指定自動車教習所と連携した検査等の受検機会の確保等に努めました。



指定自動車教習所での  
運転技能検査の様子

# 5 交通事故の起きにくい道路交通環境の整備

## (1) 交通安全施設の整備

- 視認性の良いLED式信号灯器・LED電球の導入を推進し、見やすく分かりやすい信号機の整備と、信号機の長寿命化・省電力化に取り組みました。



交通情報板の高度化

- 交通情報板の高度化による、タイムリーかつドライバーの印象に残る道路交通情報の提供や交通事故が起きにくい円滑化にも配慮した信号制御に努めました。

## (2) 生活道路、通学路等における交通安全対策

- 生活道路や通学路における児童等の安全を確保するため、学校関係者、道路管理者等と連携した交通安全総点検（23校区）を実施しました。



交通事故多発地点等の総合診断

- 自治体、道路管理者等の関係機関と連携した交通事故多発地点等の総合診断を実施し、横断歩道等の移設による交差点のコンパクト化や路面表示による注意喚起等を行いました。

## (3) 大規模災害等に備えた交通対策

- 災害により停電が発生した場合においても、信号機の機能停止による道路交通の混乱を防止するため、自動起動式信号機電源付加装置等の予備電源を整備しました。



災害対応訓練

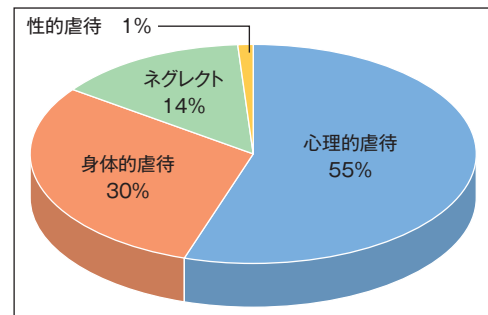
- 信号減灯時の手信号実施要領、発動発電機による信号復旧要領のほか、緊急交通路指定時の緊急通行車両等に対する緊急通行車両標章交付要領等、災害の発生を想定した訓練を実施しました。

# 人身の安全を確保するための対策の徹底

## 1 令和5年中の人身安全関連事案の認知・検挙状況

### (1) 児童虐待事案の認知・検挙状況

令和5年中の児童虐待事案の認知件数は810件（前年比139件（20.7%）増加）、検挙件数は53件（前年比18件（51.4%）増加）となっています。虐待の種別では、心理的虐待が385件と最も多く、以下、身体的虐待213件、ネグレクト（育児怠慢・拒否）102件、性的虐待6件となっています。



虐待種別における割合

### (2) ストーカー・DV事案の認知・検挙状況

- 令和5年中のストーカー事案の認知件数は96件（前年比36件（27.3%）減少）、禁止命令の発出件数は24件（前年比3件（11.1%）増加）、ストーカー規制法違反における検挙件数は14件（前年比4件（22.2%）減少）となっています。
- また、DV（配偶者暴力）事案の認知件数は540件（前年比36件（7%）増加）、保護命令違反における検挙件数は1件（前年比1件増加）となっています。

## 2 人身安全関連事案対策の推進

### (1) 児童虐待事案対策

- 児童相談所、学校等の関係機関と緊密に連携して情報共有を行うなど、児童の安全確保を最優先とした対応に努めました。
- 児童の一時保護を想定した児童相談所との合同現場対応訓練を行い、連携の確認と現場対応力の向上に努めました。
- 大学教授による児童から正しい情報を聴き出すために有効な聴取方法である司法面接に関する研修会を開催し、必要な聴取能力の向上に努めました。



児童相談所との合同現場対応訓練

### (2) ストーカー・DV事案対策

- 事態が急展開して重大事件に発展するおそれがあることを常に念頭に置き、警告、禁止命令等の行政措置や刑法等の関係法令適用による検挙等、様々な措置を講じ、被害者及び被害関係者の安全確保を最優先とした対応に努めました。
- 被害者等に、緊急又は一時的に避難する場所を確保する必要性が生じた場合におけるホテル等の宿泊施設を利用する費用を、公費で負担する制度の適切な運用に努めました。

# 犯罪防止に向けた取組の推進

## 1 令和5年中の刑法犯認知・検挙状況

- 令和5年中の刑法犯認知件数は、5,761件（前年比1,588件（38.1%）増加）と2年連続で増加しました。  
不同意性交等などの重要犯罪が増加したほか、特に住宅対象侵入盗や特殊詐欺被害が増加するなど、県下の治安情勢は厳しい状況です。
- 令和5年中の特殊詐欺の被害状況（暫定値）は、認知件数が171件（前年比80件（87.9%）増加）、被害総額が約2億777万円（前年比約1億792万円（108.1%）増加）と前年に比べると、被害件数、被害総額ともに大幅に増加しており、対策が急務となっています。  
手口別で見ると、パソコンのウイルス感染を装いサポート料金等を請求するものや、有料サイト等の架空の未払い料金を請求するものなど、架空料金請求詐欺による被害が認知件数の約7割を占めています。  
また、被害者の年齢別では、高齢者の被害額が全体の約64%を占めています。

## 2 こども・女性・高齢者を守る取組

### (1) 自主防犯活動の促進

- あらゆる世代の方が日常生活の中で取り組める「ながら見守り」活動のほか、企業の特性や業務の内容を活かした防犯CSR活動の普及に取り組みました。  
※「ながら見守り」…花の水やりや犬の散歩など日常生活をしながらこどもを見守る活動  
※「防犯CSR活動」…企業や事業者等が、「防犯」の視点に立ち自発的に犯罪の起きにくいまちづくりの実現に取り組む活動
- 自主防犯ボランティア団体に対して、地域安全情報の提供や物品支援を行うなど、防犯ボランティア活動の活性化に取り組みました。



防犯CSR活動

### (2) 防犯環境の整備

こどもや女性が被害者となる犯罪をはじめ地域住民が不安を感じる事案の発生を防止するため、自治体や自治会等を対象に防犯カメラの設置に要する初期費用の一部を補助する事業を実施して、防犯カメラの設置促進に努めました。



地域に設置された防犯カメラ

### (3) 特殊詐欺被害防止対策の推進

- 特殊詐欺の手口が仮想体験できるデジタルコンテンツを香川大学と共同開発し、被害防止教室等での活用を通じて、高齢者を中心に幅広い世代に注意喚起を行いました。



デジタルコンテンツ

## 犯罪防止に向けた取組の推進

- 香川県防犯協会連合会に委託し、防犯アドバイザーが、金融機関、コンビニエンスストア、宅配業者等を直接個別訪問し、特殊詐欺の発生状況や被害防止対策等をタイムリーに情報提供するなど、水際対策の強化に努めました。
- 特殊詐欺被害防止コールセンターを開設し、高齢者等に対して直接電話をかけて特殊詐欺の手口や被害防止について注意喚起を行いました。



防犯アドバイザー

### 3 制服警察官による地域の実態に即した街頭活動等の強化

#### (1) 制服警察官による街頭活動等の強化

事件・事故の未然防止と犯人検挙のため、犯罪や交通事故が多発する時間帯・地域に重点を置いたパトロール、不審者に対する職務質問、危険箇所の把握、犯罪多発地域の家庭や事業者に対する防犯指導等を行いました。

そのほか、移動交番車を活用して交通事故や特殊詐欺の被害防止のための広報啓発活動や登下校時における見守り活動を行うなど、積極的に制服警察官の姿を見せる活動を行いました。



移動交番車

#### (2) 迅速・的確な初動警察活動の推進

- 令和5年中、6万4,617件※（前年比4,921件（8.2%）増加）の110番通報を受理しました。

警察本部通信指令室では、交番等の警察官を現場に急行させ事件・事故に即応するとともに、被害の拡大防止に努めました。

※無応答、いたずら、かけ間違い等を除く。

- 重大事件・事故に対しては、自動車警ら隊、水上警察隊が機動力を発揮し、迅速・的確な初動警察活動を推進したほか、鉄道の安全を確保するため、列車内や鉄道警察施設における警戒を強化しました。



通信指令室



自動車警ら隊



鉄道警察隊



水上警察隊

## 4 少年の非行防止及び保護育成総合対策の推進

### (1) 少年の規範意識の向上

- スクールサポーターを小・中学校に派遣し、万引き防止やインターネットの安全利用等についての非行防止教室を開催しました。
- 中学生自らが非行防止の啓発を行う「かがわマナーアップリーダーズ活動」では、64校3,961人の登録があり、非行防止キャンペーンやSNSに関する注意喚起等の活動を行いました。



かがわマナーアップ  
リーダーズサミット2023

### (2) 立ち直り支援活動

周囲の環境や自身に問題を抱える少年に親子カウンセリングを活用した継続的な指導・助言や少年警察ボランティアと協力したいちご栽培等の各種体験活動を行うなどして立ち直り支援活動を推進しました。



いちご栽培体験活動

### (3) 少年を取り巻く有害環境の浄化対策

- SNS上でこどもの性被害につながるおそれのある不適切な書き込みを発見して注意喚起のメッセージを書き込むほか、管理者に削除を求めるなどしてこどもを性被害から守る取組を推進しました。
- 児童生徒及び保護者に対するインターネット安全利用の啓発活動、フィルタリング利用促進に向けた販売店への要請や、こどもの性被害を防ぐため、旅館・ホテル等への注意喚起等の協力要請を実施しました。

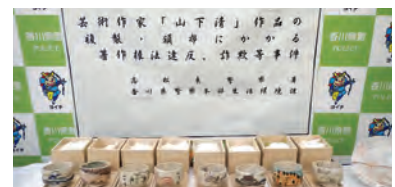
### (4) 集団的不良交友関係の解消に向けた対策の推進

傷害事件等の犯罪を繰り返す非行少年グループに対し、戦略的に検挙・補導を行い、集団的不良交友関係の実態解明と早期解体により、少年の非行防止を推進しました。

## 5 良好な生活環境を守るための諸対策の推進

### (1) 生活経済・環境事犯対策

- 高齢者を狙った悪質商法や著作権侵害事犯等の知的財産権侵害事犯に対し、関係機関と連携し、被害実態の早期把握に努めるとともに、取締りを推進しました。
- 廃棄物の不法投棄事犯を始めとする県民の健康を脅かす事犯に対し、関係機関と連携し、事案の早期発見・検挙による被害の拡大防止に努めました。



芸術作家の作品の複製にかかる  
著作権法違反・詐欺事件の検挙

### (2) 風俗環境浄化対策

清浄な風俗環境を確保するため、立入りによる行政処分・指導や各種法律を駆使した取締りのほか、関係機関・団体と連携したキャンペーンを実施しました。

# 重要犯罪等の徹底検挙

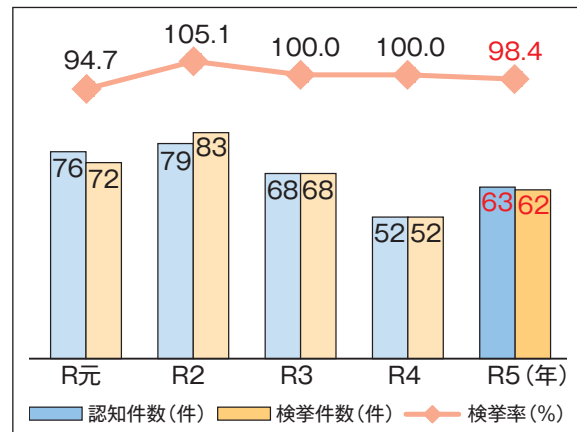
## 1 重要犯罪、重要窃盗犯の徹底検挙

### (1) 重要犯罪の認知・検挙状況

重要犯罪<sup>\*1</sup>の認知・検挙状況の推移はグラフのとおりであり、令和5年中の認知件数は63件(前年比11件(21.2%)増加)、検挙件数は62件(前年比10件(19.2%)増加)、検挙率<sup>\*2</sup>は98.4%でした。

#### 【検挙事例】

- ◆ 郵便局被害の持凶器強盗事件  
[高松南署]
- ◆ コンビニエンスストア被害の持凶器強盗事件 [高松北署]
- ◆ 会社役員被害の殺人未遂事件 [高松東署]



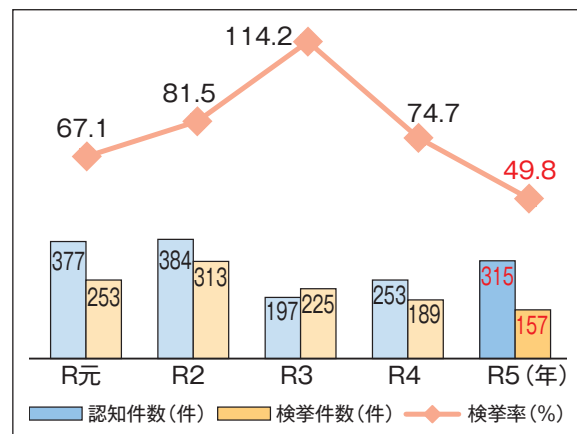
重要犯罪認知件数・検挙件数・検挙率の推移

### (2) 重要窃盗犯の認知・検挙状況

重要窃盗犯<sup>\*3</sup>の認知・検挙状況の推移はグラフのとおりであり、令和5年中の認知件数は315件(前年比62件(24.5%)増加)、検挙件数は157件(前年比32件(16.9%)減少)、検挙率<sup>\*2</sup>は49.8%でした。

#### 【検挙事例】

- ◆ 窃盗常習者による連続窃盗  
(出店荒し)等事件 [高松北署]
- ◆ 窃盗常習者による連続窃盗(忍込み)等事件 [丸亀署]



重要窃盗犯認知件数・検挙件数・検挙率の推移

※1「重要犯罪」…刑法犯のうち、殺人、強盗、放火、不同意性交等、略取誘拐・人身売買及び不同意わいせつの各罪種をいう。

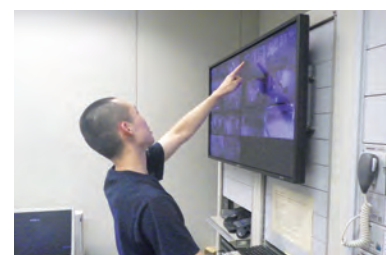
※2 検挙は前年以前の認知事件等の検挙を含むことから、検挙率が100%を超える場合がある。

※3「重要窃盗犯」…窃盗犯のうち、侵入盗、自動車盗、ひったくり及びすりの各手口をいう。

## 2 科学捜査力の強化

### (1) カメラ画像の活用

防犯カメラやドライブレコーダー等の画像は、被疑者の特定や犯行の立証に有効であり、警察捜査に欠かせないものとなっていることから、事件発生後、迅速にカメラ画像の収集・分析・解析を行い、犯人の割り出しや余罪の確認などに活用しました。



カメラ画像捜査

## (2) 鑑識資料の収集

現場から確かな資料を採取するための新たな手法について研究開発をすすめ、重要犯罪を始めとする各種事件発生時には、これまで技術的に検出できなかった現場資料を的確に検出・採取し、犯人の特定や犯行状況の立証に資する活動を推進しました。



現場鑑識教養状況

## (3) 科学技術の活用

客観証拠による的確な立証を図り、犯罪の悪質化・巧妙化等に対応するため、被疑者の特定や犯罪の立証において極めて有用であるDNA型鑑定や指掌紋自動識別システム等を活用しました。



DNA型鑑定

# 3 構造的な不正事案への対策

## (1) 政治・行政・経済をめぐる不正の追及

- 贈収賄事件等の政治・行政をめぐる不正事案、金融・不良債権関連事犯等の経済的不正事案を追及するため、端緒情報の把握に努めるとともに、事案の解明をすすめました。
- 新型コロナウイルス感染症の流行に関連した各省庁所管のGOTOトラベル事業や持続化給付金事業など、各種給付金の不正受給事件の取締りに努めました。

### 【検挙事例】

- ◆ 土地改良区理事長らに対する土地改良法違反（贈収賄）事件  
[捜査第二課、高松南署]

## (2) 選挙違反取締り

第20回統一地方選挙や各地方選挙の施行に伴い、警察本部及び県下各警察署に違反取締本部を設置し、文書掲示等の軽微な違反に対する警告を実施して選挙の公正を確保するとともに、詐偽投票・投票偽造事件や選挙の自由妨害事件を検挙するなど、厳正公平な取締りを実施しました。



第20回統一地方選挙違反取締本部設置

# 暴力団等組織犯罪対策の推進強化

## 1 総合的な組織犯罪対策の推進

### (1) 総合的な暴力団対策の推進

指定暴力団六代目山口組、二代目親和会傘下組織を始めとする暴力団の弱体化・壊滅に向け、組織や暴力団関与企業等の実態解明を推進するとともに、あらゆる法令を駆使した取組みや各種事業からの暴力団排除対策を徹底するなど、総合的な暴力団対策を推進しました。

### (2) 社会が一体となった暴力団排除活動の推進

公益財団法人香川県暴力追放運動推進センター、自治体、暴力団排除活動団体等により「暴力追放運動住民大会」（10月）や「暴力追放キャンペーン」（11月）を開催し、「暴力団排除推進旬間」（11月）には、暴力団排除の重要性について地域住民の関心と理解を深めるため、地域暴排組織等による暴力団排除キャンペーンや暴力団に関する出張相談を行うなど、社会が一体となった暴力団排除活動を推進しました。



暴力追放キャンペーン



暴力団排除推進旬間開始式

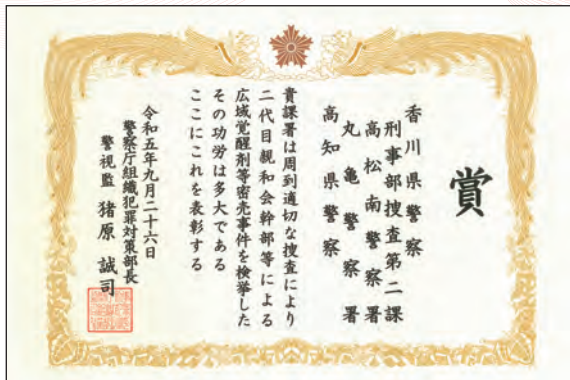
### (3) 薬物犯罪組織、来日外国人犯罪グループ等の取締り強化

- 違法薬物を密売する犯罪組織や来日外国人犯罪グループの取締りを強化し、指定薬物を輸入した外国人留学生や覚醒剤を密売した暴力団構成員等を検挙しました。また、近年若者層で乱用が広がっている大麻事犯の対策として、インターネット上の違法情報を排除し、乱用防止のための広報啓発活動を実施しました。
- 犯罪組織を弱体化させ、壊滅に追い込むため、密売人や乱用者の検挙に加え、違法薬物で得た薬物犯罪収益の剥奪を徹底しました。

#### 【検挙事例】

- ◆ 香川・高知県警察共同の二代目親和会幹部等による広域覚醒剤等密売、薬物犯罪収益剥奪事件 [捜査第二課、高松南署、丸亀署]
- ◆ 大麻営利目的栽培・所持・密売薬物犯罪収益剥奪事件 [捜査第二課、高松南署]





警察庁組織犯罪対策部長賞(覚醒剤密売事件)



押収した大麻及び栽培器具等

## 2 特殊詐欺撲滅に向けた取締りの強化

### (1) 特殊詐欺事件の徹底検挙

予兆電話多発時の公共交通機関周辺における流動警戒による不審者への職務質問を徹底し、受け子・出し子の早期の現場検挙に努め、犯罪の指示役など、特殊詐欺事件の実行犯を検挙しました。

#### 【検挙事例】

- ◆ 2、5、11月、市役所職員及び銀行員をかたり高齢者からキャッシュカードをだまし取る預貯金詐欺事件 [坂出署、高松北署、高松南署]
- ◆ 3、5月、老人ホームの入居権に関するトラブル名目で高齢者から現金をだまし取る架空料金請求詐欺事件 [三豊署、高松北署]

### (2) 特殊詐欺の検挙に向けた教養訓練の実施

特殊詐欺事件の被疑者を検挙するため、各種教養の機会において、実際の現場で起こり得る事案を想定した、公共交通機関付近などでの不審者に対する職務質問を端緒とした迅速な検挙訓練を実施しました。



特殊詐欺検挙訓練状況

# テロ等の未然防止の徹底と災害等緊急事態への対処力の強化

## 1 テロの脅威等への対処

### (1) 官民一体となったテロ対策の推進

○ 警察では、テロの未然防止及びテロへの対処体制の強化に取り組むため、情報収集・分析、水際対策、警戒警備、事態対処、官民連携といったテロ対策を強力に推進しています。

○ テロ等を未然に防止するためには、警察による取り組みだけではなく、関係機関や民間事業者、地元住民等が緊密に連携して「官民一体となったテロ対策」を推進する必要があります。

こうした取組を推進するため、平成30年10月に発足した「テロ対策パートナーシップかがわ」では、香川県等の関係機関・団体との連携強化を図りながら、定例会や訓練、合同キャンペーン等を実施し、テロに対する危機意識の共有や大規模テロ発生時における協働対処体制の整備等を行っています。

○ 爆発物の原料となり得る化学物質を販売する事業者に対する販売時の身分確認の徹底、不審購入者への対応要領の教示等を行っています。

また、テロを行う者の拠点等となり得る旅館、インターネットカフェ、レンタカー及び住宅宿泊事業者に対して、顧客に対する本人確認の徹底等の働きかけを行い、社会情勢の変化を踏まえながら、テロリストによる悪用の防止を図っています。



テロ対策パートナーシップかがわ定例会



サンポート高松における総合訓練



テロ警戒中ポスター作製

### (2) 極左暴力集団、右翼による違法行為の取締り

○ 令和5年中、県内では極左暴力集団によるテロ・ゲリラ事件の発生はありませんでしたが、国内においては過去に飛翔弾発射事件等が発生しており、関連情報の収集と政府関連施設等への警戒警備を強化しました。

また、県民の理解と協力を得ながら、極左暴力集団の非公然アジト摘発のための各種対策を強化するとともに、違法行為の未然防止に向けた情報収集を図りました。

○ 令和5年中、県内では右翼による街宣活動や対抗勢力に対する抗議行動が行われ、法令に基づいて暴騒音の取締りを行いました。

また、右翼によるテロ・ゲリラ事件の抑止のため、情報収集や資金源犯罪の取締りに努めました。

## テロ等の未然防止の徹底と災害等緊急事態への対処力の強化

## (3) G7広島サミット等の開催を踏まえた警戒警備等の強化

- 高松空港をはじめとする公共交通機関や重要インフラ施設等でのパトロールを行うなど、警戒警備を強化するとともに、テロを想定した高松港での対処訓練や陸上自衛隊との共同訓練等を行うなど、関係機関との連携強化を図りました。
- 警護をめぐる情勢等を踏まえつつ、警護員に対する教養訓練を実施するなどして、更なる警護の強化に向けた取り組みを推進しました。
- 集団警備力による有事即応体制を保持する機動隊においては、爆発物対策、水難救助、NBC（核・生物・化学物質）テロ対策等の専門部隊活動の訓練を重ねるなど、緊急事態への対処力の向上を図りました。
- 県内で開催されたG7香川・高松都市大臣会合では、県民の理解と協力を得つつ、総力を挙げて、総合的な警備諸対策を推進し、国内外要人の身の安全と行事の円滑な進行を確保しました。



陸自との共同テロ対処訓練



総合警備訓練（警護）



G7香川・高松都市大臣会合警備

## 2 大規模災害への対処力の強化

## (1) 災害警備指揮体制の強化

災害時における迅速な初動体制を確立するため、大規模災害を想定した非常伝達訓練や災害警備本部の設置運営訓練等を実施しました。

## (2) 部隊能力の向上

- 大規模災害を想定した西日本広域緊急援助隊特別救助班合同訓練に参加するなど部隊能力の向上に努めました。
- 南海トラフ地震の被害想定や、近年の豪雨災害等の特徴を踏まえ、自治体との合同訓練や災害装備資機材を活用した訓練等を実施し、災害対処能力の向上を図りました。
- 航空隊では、発災時に迅速・的確な対応がとれるよう自県及び隣接県の主要な場外離発着場を確認したほか、水難救助技術の向上を目的とした機動隊との合同訓練等を実施しました。



香川県総合防災訓練



災害救助訓練

# サイバー空間の脅威への的確な対処

## 1 サイバー事案への対策

### (1) インターネット上の違法情報・有害情報対策

- 深刻化するサイバー空間の脅威に的確に対処するため、サイバー犯罪対策課を新設して捜査体制を拡充し、他人のID・パスワードを悪用した不正アクセス事犯、インターネットバンキングに係る不正送金事犯等の取締りを推進しました。
- サイバーパトロール等を通じた違法・有害情報の把握に努め、偽サイトや詐欺サイト等の削除要請や閲覧防止の措置を講じるなど、被害の未然防止及び拡大防止の対策を推進しました。



サイバー犯罪対策課の発足式



サイバーパトロールに従事する捜査員

### (2) サイバー攻撃への対策

- サイバーセキュリティ分野の有識者等と情報共有を図るとともに、サイバー攻撃に係る攻撃者や最新の手口等に関する情報の収集・分析を行い、攻撃者等の実態解明に努めました。
- 事業者等に対する個別訪問等を通じて、事業者等との情報共有及びサイバーセキュリティに対する意識の向上を図るとともに、サイバー攻撃事案が発生した場合における被害の拡大防止、迅速な対処に向けた事案対処力の強化を図りました。
- G7香川・高松都市大臣会合開催に万全を期すため、情報収集・分析の強化、サイバー攻撃対策セミナーの開催、関連事業者等との共同対処訓練を実施するなどのサイバー攻撃対策を実施しました。



サイバー攻撃対策セミナーの開催



県との共同対処訓練の実施

## 2 人材育成の推進

### (1) サイバー空間における脅威への対処に係る人材育成

- 「香川県警察におけるサイバーセキュリティ戦略」に基づき、部門間連携の強化、人材育成計画の策定等、警察組織の総合力を発揮するための諸対策を推進しました。
- 人材に関するキャリアパス管理を部門横断的かつ体系的に実施し、計画的な人材育成を推進することにより、全職員の対処能力向上に取り組みました。



サイバーセキュリティ戦略推進委員会

## (2) 捜査員等に対する実践的研修

- 民間事業者の知見等を活用した教養・研修や、特定の警察官を対象としたサイバー人材育成プログラムの運用により、サイバー事案捜査に従事する職員の知識・技能の更なる向上に取り組みました。
- 警察本部と各警察署をオンラインで繋ぎ、サイバー分野に関する知識・技能を競うサイバーセキュリティ研修(CTF)を実施しました。
- 情報通信企業の職員を「香川県警察サイバーセキュリティ対策アドバイザー」に委嘱し、警察職員に対するセキュリティ講演会を開催しました。



サイバーセキュリティ研修(CTF)

サイバーセキュリティ対策  
アドバイザーによる講演会

## 3 官民連携の推進

### (1) サイバー防犯ボランティアに対する支援

- 県下の大学・専門学校の学生で構成される2団体を「香川県警察サイバー防犯ボランティア」に委嘱し、フィッシングサイトの発見、通報活動やSNS上の違法・有害情報の通報等の取組を支援しました。
- サイバー防犯ボランティアや民間企業等と共同した広報用チラシ等の制作のほか、サイバーセキュリティ教室やイベントを開催するなど、官民連携による効果的な被害防止対策を推進しました。



サイバー防犯ボランティア委嘱式



官民連携による啓発イベントの開催

### (2) 関係機関・団体と連携した対策の推進

- 県下の関係機関・団体及び企業で構成する「香川県プロバイダ等防犯連絡協議会」「香川県サイバーセキュリティ連絡ネットワーク」「香川県サイバー攻撃対策協議会」との情報の共有と連携を図り、サイバー事案被害防止に向けた自主的取り組みを促進しました。
- 事業活動に影響を及ぼすサイバー事案への対策として、県内事業者等に対して最新のサイバー攻撃情勢やセキュリティ対策に関する講演を実施し、身近に迫るサイバー空間の脅威に対する危機意識の醸成を図りました。



事業者に対するサイバー攻撃対策講演

# 警察活動を支える基盤整備の強化と柔軟な組織運営の推進

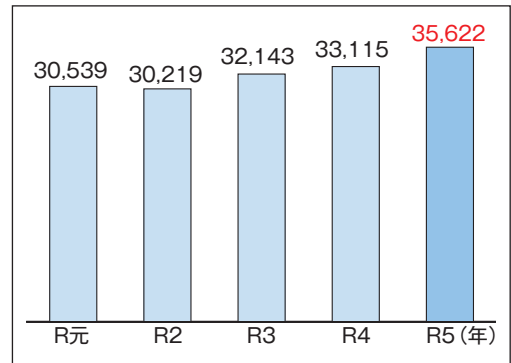
## 1 県民の視点に立った警察活動の推進

### (1) 県民からの意見・要望等への適切な対応

- 警察署の業務運営に民意を反映させるために設置された警察署協議会を、令和5年中は県下12警察署で延べ47回開催し、委員からの道路交通環境の整備や特殊詐欺被害防止の広報啓発等様々な意見・要望等を、警察活動に反映しました。
- 県民の皆様から寄せられた相談等に対し、相談の総合窓口と関係部署が連携し、相談者の不安を解消するための必要な措置を講じ、適切に対応しました。令和5年中の相談受理件数は3万5,622件（前年比2,507件（7.6%）増加）となっています。



警察署協議会の開催



相談受理件数の推移(件)

### (2) 警察活動に対する県民の理解と協力を得るための情報発信

- 県警ホームページ、ヨイチメール、X等を活用し、事件・事故の発生検挙、防犯に関する注意喚起や警察活動に対する理解と協力を得るための情報を積極的かつ効果的に発信しました。
- 香川県警察音楽隊は、県民と警察を結ぶ「音の架け橋」として、交通安全教室、防犯教室等の各種イベントに出動したほか、4年ぶりに第55回四国4県警察音楽隊演奏会を高松市で開催するなど、演奏を通して県民の安全・安心に関する啓発活動を行い交通事故防止、犯罪防止等を呼びかけました。



第55回四国4県警察音楽隊演奏会

### (3) 犯罪被害者支援活動の推進

- 犯罪被害者等に対して、「被害者の手引」を配付し、捜査状況等の情報提供を行うなど心情に配慮した支援活動を行うとともに、24時間体制かつフリーダイヤルの性犯罪被害専用相談電話「# 8103 (ハートさん)」を運用して、性犯罪被害者への支援を推進しました。
- 公益社団法人かがわ被害者支援センターと連携して中学生・高校生を対象とした「命の大切さを学ぶ教室」や被害者支援パネル展、犯罪被害者支援講演会を開催するなど、犯罪被害の実態や犯罪被害者支援の重要性等に関する広報啓発活動を行いました。



命の大切さを学ぶ教室

## 2 第一線における職務執行を支える取組の推進

### (1) 組織を挙げた優秀な人材確保

- 将来の警察組織を担う優秀な人材を確保するため、あらゆる警察活動を通じて積極的かつ効果的な採用募集活動を推進しました。
- 警察業務の魅力ややりがい等を身近に感じてもらうために、警察学校、警察署、機動隊において体験型業務説明会を開催しました。



警察学校での鑑識体験



機動隊での装備品着用体験



警察署での業務説明

- 大学生を対象としたインターンシップ(職業体験)を実施しました。  
生活安全警察をテーマに行い、サイバー犯罪捜査体験では、サイバーパトロールを実施しました。また、大型ショッピングセンターでは防犯キャンペーンの一環として自作のチラシを配布し、身近な犯罪への啓発活動を行いました。



インターンシップでの広報啓発資料制作

- SNSを活用した情報発信の一環で、採用試験や業務説明会等のイベントに関する情報をInstagramで発信しました。  
採用試験に関する情報以外にも警察学校での入校式、卒業式、インターンシップの状況等、広く情報を発信しました。

下記の2次元コードから閲覧可能です。



Instagramのサムネイル



Instagram  
2次元コード

## (2) 現場執行力向上に向けた教養・訓練

- 凶悪犯罪や様々な治安上の課題に的確に対処できる精強な執行力の確保を目的として、柔道、剣道、逮捕術、拳銃等の術科訓練や、実際の現場で発生する可能性の高い事案を想定した訓練を継続的に行いました。
- 卓越した専門的な技能や知識を有する職員を「技能指導官」に指定し、警察署等での講義や実際の活動現場での同行指導等の実務的な教養を行い、技能の伝承を図りました。
- 術科技能の向上と士気高揚を図るとともに、県民の安全を守り力強い警察活動を推進するため、柔道・剣道大会や逮捕術大会等、各種術科大会を開催しました。



交番襲撃への対応訓練



技能指導官による教養(職務質問)



県下警察駅伝大会



県下警察柔道・剣道大会(柔道)



県下警察柔道・剣道大会(剣道)



県下警察逮捕術大会

- 「青年警察官フォローアップ講座」や警察署における実戦的総合訓練等を通じて、訓練指導者の指導力と若手警察官の職務執行能力の向上を図りました。



青年警察官フォローアップ講座



実戦的総合訓練



### (3) 働き方改革の推進

- 男性職員の家事・育児等の家庭生活への参画を促進し、出産後の配偶者を支援するために香川県警察次世代育成支援及び女性職員の活躍推進特定事業主行動計画の新たな数値目標として「男性職員の育児休業取得率 50%」を設け、男女を問わず全ての職員がその持てる力を最大限に発揮することができる職場づくりに努めました。
- 女性警察官のキャリア形成を支援するために、本部及び警察署で勤務する警部補以下の女性警察官を対象として、キャリアアップに向けた研修を開催しました。



男性職員へのサポート面談



キャリアアップ教養

- 職員の在職中から退職後にわたる人生をより充実したものとし、安心して良質な生活を送れるようにするため、家庭経済設計などの情報を提供したほか、各世代に応じた生活設計セミナー・研修を開催しました。
- 日常生活における身体活動量の増加及び運動習慣の定着を図り、生活習慣病の予防を推進するため、各年代に応じた運動メニューを体験するフィットネスデーを開催しました。



生活設計セミナー・研修



フィットネスデー

**(4) 基本に徹した適正な職務執行及び警察施設のセキュリティの確保**

地域安全活動の拠点として重要な施設である交番・駐在所の新築時等に、遮蔽板付きカウンターや防犯カメラの設置などセキュリティの確保に配慮した施設整備を行いました。



高松北警察署香西交番

**3 警察運営の合理化・効率化の推進****(1) 警察力を最大限に発揮する警察情報システム等の構築・改善**

警察情報システムの構築や改善を行い、業務の合理化・高度化を推進するとともに、社会情勢の変化を踏まえ、一層の情報セキュリティ確保のため、職員に対する指導教育を行いました。

**(2) 治安情勢等の変化を踏まえた必要な地域・分野への警察力配分の重点化**

- 深刻化・巧妙化するサイバー犯罪への対策、取締りをより一層強力に推進させるため、サイバー犯罪対策課を設置しました。



サイバー犯罪対策課発足式

- ストーカー・DV・児童虐待事案等に加え、少年が当事者となる各種事案にも一元的に対応して総合的な少年対策を推進するとともに、別々の所属が担当していた福祉犯捜査と少年事件捜査を統合し

て少年犯罪を含む特別法犯の捜査力を強化するため、人身安全対策課、少年課及び生活環境課を再編し、人身安全・少年課と生活安全捜査課を設置しました。

**(3) 業務改善の推進**

- 警察業務の適正かつ能率的な運営及び規律の保持に資するため、県警察において取り組むべき課題等を踏まえた厳正な監察を実施しました。
- 警察職員の職務執行に対する苦情に誠実に対応するとともに、苦情内容の分析結果等を踏まえた業務改善により、県民の視点に立った職務執行に努めました。

## 【警察学校における採用時教育】

- 新たに採用された警察官は、警察学校に入校し、短期課程（大卒程度）で6か月、長期課程（高卒程度）で10か月の初任教養を受け、現場に出るために必要な知識・技能を学びます。
- 警察学校では、誇りと使命感に裏打ちされた高い倫理観と職務執行能力を兼ね備えた警察官を育成するため、寮生活や各種情操教育を通じて、奉仕の精神や協調性等の豊かな人間性の涵養に努めています。
- 憲法、刑法等の法学や刑事、交通等の警察実務、逮捕術、柔道、剣道等の術科訓練を通じて、職務執行に不可欠な基礎的知識・技能を習得させているほか、各種現場を想定した実戦的な訓練を推進し、実務に強い警察官の育成に努めています。



入校…治安への誓い



マラソン大会



交通授業



逮捕術



柔道



剣道



通常点検



校外研修



卒業…託された使命

『香川の人と街を守る！』  
その情熱は、警察学校からスタートします！

事件・事故、緊急時の通報は

110

警察に対する相談は

シャープ キュー イチ イチ マル

#9110

#8103(プッシュ回線)

0120-694-110

087-831-9110(FAX可)

性犯罪の被害に関する相談(ハートフルライン)

087-831-8930

暴力団に関する相談

087-837-4970(本部)

0877-33-3015(中讃)

少年の非行問題等に関する相談

#8080

安全運転相談ダイヤル(運転免許)

警察署	郵便番号	所在地	電話番号
東かがわ警察署	769-2601	東かがわ市三本松 1723-2	0879-25-0110
さぬき警察署	769-2101	さぬき市志度 1028-1	087-894-0110
高松東警察署	761-0702	木田郡三木町大字平木 56-4	087-898-0110
小豆警察署	761-4421	小豆郡小豆島町苗羽甲 1351-1	0879-82-0110
高松北警察署	760-8511	高松市西内町 2-30	087-811-0110
高松南警察署	761-8511	高松市多肥上町 1251-8	087-868-0110
坂出警察署	762-0011	坂出市江尻町 1204-1	0877-46-0110
高松西警察署	761-2305	綾歌郡綾川町滝宮 1332-1	087-876-0110
丸亀警察署	763-0055	丸亀市新田町 1-7	0877-22-0110
琴平警察署	766-0003	仲多度郡琴平町五條 620-1	0877-75-0110
三豊警察署	767-0011	三豊市高瀬町下勝間 2335-1	0875-72-0110
観音寺警察署	768-0066	観音寺市昭和町 2-1-55	0875-25-0110

香川県警察公式  
ホームページ



香川県警察公式  
X



香川県警察  
ヨイチメール

